

青木村消防団広報

KODAMA

発行所／青木村消防団 〒388-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111
発行責任者／岩下竜太郎 編集／本部班

No. 24

発行：平成29年11月1日

青木村消防団によせて

青木村消防団長 岩下竜太郎



本年度も約半分が過ぎました。皆様のご協力とご理解の中無火災・無災害で過ごすことができました。本当にありがとうございます。

残りの日々も安心・安全に過ごせるよう団員一丸となり活動してまいります。温かいご支援よろしくお願いいたします。

さて本年度は大きな転換の年でした。4分団制から2分団制への切り替えが行われました。村を大きく2つに捉えることにさまざまな意見を頂きましたが、私どもはより時代に合った変革、団の結束力増強と考え、2分団制へと踏み切りました。しかしながら開始直後から完全な形にはなりません。先程述べたよう

に、時代に合わせた変革は常に必要なことです。今回の大きな決断に振り回されることなく、我々の根底にある「村の火事には村の者で立ち向かう」という精神の下、より安心で安全な青木村を目指すべく、研鑽を重ねてまいります。

最後に本年度のここまでの団員の活躍を紹介します。大きなところではやはり上小大会の青木村開催です。大会にチームを送り出すまでの訓練・指導はもちろんのこと、大会運営に大きな力を発揮してくれました。これも一つの大きな想定訓練であったと思っております。更に、ここに全ては載せ切れないほどの日々の訓練や広報活動とあります。

どうかこれからも団員一丸となって活動してまいりますので、温かいご支援とご協力をお願いいたします。

消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会 結果報告

第54回 青木村消防ポンプ操法大会

【小型ポンプの部】

- 優勝 第1分団 A
- 準優勝 第2分団 B
- 第3位 第2分団 A
- 技能賞 第1分団 A
- 当郷部 西沢靖行さん
- 技能賞 ポンプ車
- 下奈良本部 多田雄二さん



第38回 青木村消防ラッパ吹奏大会

【個人の部】

- 優勝 第2分団 杓掛部 菅原将仁さん
- 準優勝 第1分団 村松部 相澤良通さん
- 第3位 第1分団 村松部 松田和也さん
- 努力賞 第1分団 当郷部 西沢美絵さん
- 努力賞 第2分団 入奈良本部 堀内 勉さん

第59回 長野県消防ポンプ操法大会 上小地区大会

【小型ポンプの部】

- 第3位 第1分団
- 第8位 第2分団

【自動車ポンプの部】

- 第6位 青木村消防団

第40回 上小消防ラッパ吹奏大会

【団体の部】

- 第6位 青木村消防団

【個人の部】

- 第7位 第2分団 杓掛部 菅原将仁さん
- 第8位 第1分団 村松部 相澤良通さん



出場された選手の皆さん大変お疲れ様でした。
また、選手を支え、ご声援をくださった御家族をはじめ地域の皆様へ深く感謝申し上げます。

分団長と仲間たち

■第一分団長 北村 真一



第一分団、分団長の北村真一です。村民の皆様方におかれましては日頃より、消防団活動へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて私事ではありますが昨年度は第4分団長として今年度は新第一分団長として活動につき半年が経とうとしています。旧第4分団で培った「意識、行動」を活かし、旧第1、旧第4分団からの出身者2名の副分団長から上がってくる意見、また諸先輩方からの貴重なアドバイスに助けられ本任務を務めています。

年々団員減少が大きな課題になっていく中、本年度から2分団制へと移行致しました。消防団としての任務を遂行していくうえで一つの答えが生まれ、全

団員一丸となり日々の活動を確実にこなしています。団員も第一に家族の一員として、仕事に行けば大部分の人が会社員として働いている中、主に団塊の世代が退職なさるために一人一人が会社においても人手不足を感じているかと思えます。そんな中で団員各位が家族をはじめ、周りの人たちの理解を得ながら消防団というものを通して「いざという時のために行動できる人材」「自助・共助・公助」を理解し日々の訓練や活動をしているのを背に感じ、私自身も負けたくないという気持ちにさせられます。形はどうあれ、自身を高めあえる良い仲間になっていきます。



■第二分団長 工藤 直紀

本年度は、分団が統合され4分団から2分団に再編しましたが、我々消防団は地域防災の中核的存在として、自分たちの住む村は自分たちで守るといふ郷土愛の精神で、村民の安全で安心な暮らしを築くために日々活動しています。

最初に取り組んだ事が、分団広報活動です。今までは月2回部ごと回っていましたが、その内の一回を第2分団広報にしました。第4日曜日の午前8時から広報を行い、水利位置の確認等を行っています。

今年度は上小ポンプ操法・ラッパ吹奏大会が青木村で開催されました。可搬ポンプは第2分団合同チームで出場しました。会社員、村外勤務者が多い中、朝夕の訓練をみんなで協力して頑張ってきました。この操法訓練を基礎とし、今後の消防団活動に活かしたいと思います。また、初めて大規模災害を想

定した図上シミュレーション訓練を行いました。色々意見が出ましたが、消防団だけでは限界がある為に、地域住民の力を借りて、消防署と連携、協力し複雑多様化する災害に適切に対応できる訓練が必要と思えました。

昨年度は女性消防団員は、本部の指示で活動を行っていましたが、今年から各分団に戻り一緒に楽しく訓練、広報活動を行っています。年々団員確保が困難ですが、女性消防団員の増員を図ろうと考えています。今後とも皆様方のご理解、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ポンプ操法

■小型ポンプ 第一分団A



指揮者 長岡 正剛

（村松部）
今年度は2年ぶりのポンプ操法の選手となり、分団統合後初の大会ということもあり、沢山の不安の中での始まりとなりました。ですが、分団長をはじめ新しく仲間となれた皆様方へとても協力



■小型ポンプ 第二分団B
指揮者 渡辺 哲也
（入田沢部）
消防団入団4年目、旧第2分団の仲間

ともようやく打ち解けてきた矢先の分団統合という事で、新しい仲間とうまくやっていけるか不安でした。

そんな年に、小型ポンプ操法指揮者、メンバーは旧第2分団3名、旧第3分団2名の混合チーム、仕事は不規則勤務、小さい子供もおり、「自分に指揮

者は務まらない」と思っていました。第2分団の仲間、家族、関係者が理解してくれ、何不自由なく練習、大会に臨むことができました。

ポンプ操法の練習が、別々だった分団を一つにして、新第2分団として機能し始めるきっかけとなり、分団統合という大きな節目の年に指揮者をやって本当によかったと思えます。

第2分団の仲間、家族、関係者の皆様、そして村民の皆様から感謝申し上げます。

自動車ポンプ指揮者

■第二分団 下奈良本部



多田 雄二
今年度は指揮者として大会に臨むこと

となり、一選手とは違った楽しさや辛さがありました。なかなか予定通りの練習ができない中、取り巻きの方々には助言をいただき、選手達は自主練習で補っていたきました。大会では選手全員の気持ちもひとつとなり、全力の操法が出来たと思います。選手と取り巻きの方々の努力で今年は無事大会を終えられたと感謝したいと思います。

ラッパ吹奏

■ラッパ団体指揮者



村松部
松田 泰彦
昨年に引き

続き、上小大会でのラッパ団体の指揮者に任命していただきました。

今回は青木村での開催のため、多くの村民の方々に見て聴いていただけるチャンスであり、プレッシャーでもありません。今まで吹いたことのない自由曲にも挑戦しましたが、すべての曲において吹奏者にわかりやすく、曲に合った一定の速度で演奏できるように指揮を振ることを心がけ、練習し大会に臨みました。

結果は6位入賞で昨年より順

■第二分団 沓掛部



ラッパ班 菅原 将仁
昨年、引き続き、本年も

活動させて頂く事となり、日々練習を重ねて参りました。

近年、ラッパ班としては上小大会の団体に出場できるギリギリの人数となってきました。ほぼ全員が上小大会に出場します。

団体では十七名が指揮者の下で規律良く、音色を揃えて、心を一つに曲を吹奏するのですが、部や分団の枠を超えた集団がここまで一致団結して物事に取り組める事は、とても価値のある素晴らしい経験であると改めて感じる事が出来ました。大会を終えてもラッパ班の活

動は続きますが、引き続きラッパ班のこの頼もしい団結力で青木村消防団の士気を高めて行きたいと思っております。

最後に、日頃の消防団活動にご理解ご協力を頂いております村民の皆様、大会期間中応援して下さいました皆様へ感謝申し上げます。

■第一分団 村松部



ラッパ班 相澤 良通
今年度は、

上小大会が青木村で開催されることになり、例年以上に練習を行ったつもりでした。しかし、青木大会、上小大会共に不甲斐無い吹奏しかできませんでした。まだまだ、努力が足りないと思感させられた大会となりました。

ラッパ班での活動はこれからも続きますので、最後まで一杯取り組んでいきたいと思っております。

女性班長



堀内由香里
青木村では、女性消防団員ができてから4年目になります。

今までは本部付けでしたが、4月より各分団に分かれ活動しています。分団では、地区の草刈、消防庫や消火栓などの清掃や点検、ポンプ操法大会に向けての朝の練習などにも参加させて頂きました。本部付けの時より活動の場も多くなり、消防にやりがいを感じながら活動させて頂いています。

男性と一緒に活動するのに初めは戸惑いもありましたが、皆さんに親切にして頂き、今は楽しく活動しています。仲間も増えて、地域の人もより深く密着し、青木村のことを知ることができました。

青木村消防団へようこそ!

平成29年度青木村消防団新入団員より
ひと言ずつ頂きました。



第1分団 村松部
興村 諭さん

今年度から第一分団村松部に入団しました興村 諭です。
昨年、村松区に引越してきた事を機に入団させて頂く事になりました。
仕事の都合等によりあまり活動に参加できず、先輩方にはご迷惑をお掛けして
います。
最近は自然災害等も多く、消防団の一員として何かしらお役に立てればと思っ
ています。
まだわからない事ばかりですが、ご指導のほどよろしく願いいたします。



第1分団 村松部
高橋 俊也さん

今年度から第一分団村松部に入団しました高橋俊也です。まだまだ消防団のこ
とは分からないことばかりですが、地域の方に貢献出来るよう努めていきます。青木
村という生まれ育った場所を大切にして、活動していきたいと思ひます。よろしく
願ひします。



第1分団 村松部
大沢 航平さん

今年度から第一分団村松部に入団しました、大沢航平です。
昨年岩手県より青木村に移住し、職場が村松ということで村松部にお誘いいた
されました。
東日本大震災では、災害は他人事にあらずということをも身をもって経験しました。
微力ではありますが、地域に貢献できるよう努めてまいります。
ご指導宜しく願ひします。



第1分団 殿戸部
小林 悟さん

今年度から、第一分団殿戸部に入団しました小林 悟です。
私自身は青木村で生まれ育ちましたが、長年地元を離れており、地元に戻って
きたことを機に、入団させていただくことになりました。
分団には幼少期からお世話になった先輩も多く、先輩方のご指導のもと成長して
いきたいと思ひます。
活動にはなかなか参加できていませんが、地域住民の一員として、少しでも地域
貢献できるよう努めていきます。
今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願ひいたします。

あなたも消防団に参加しませんか?
40歳以下の方なら男女問いません。



地域の安心・安全のため共に頑張りましょう!

お問い合わせは青木村役場総務企画課 (NTT・情報電話共通 49 - 0111) まで。